

令和4年度主要施策の成果について

教 育 費

教育総務課

1 学校図書館図書整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

学習指導要領が示す「言語に関する能力の育成」を目指し、子どもたちの読書への意欲向上のため、継続して学校図書館の図書の整備を行った。

○図書整備費 小学校 1,584,000 円、中学校 1,746,000 円、義務教育学校 2,670,000 円

	令和 3 年度			令和 4 年度				
	年度末蔵書冊数	図書基準冊数	蔵書基準達成率	年度中整備冊数 (寄贈等 含)	年度中廃棄冊数	年度末蔵書冊数	図書基準冊数	蔵書基準達成率
小学校	74,734 冊	47,240 冊	158.20%	2,733 冊	2,408 冊	75,059 冊	48,560 冊	154.57%
中学校	44,168 冊	45,600 冊	96.86%	2,520 冊	694 冊	45,994 冊	45,120 冊	101.94%
合計	118,902 冊	92,840 冊	128.07%	5,253 冊	3,102 冊	121,053 冊	93,680 冊	129.22%

※義務教育学校分の図書基準冊数については、義務教育学校の前期課程を小学校の基準で、後期課程を中学校の基準で計上している。

○学校図書館ネットワークシステム使用料 475,200 円

小学校 193,600 円 中学校 158,400 円 義務教育学校 123,200 円

○学校図書館システム用パソコン借上料 299,640 円

小学校 136,200 円 中学校 81,720 円 義務教育学校 81,720 円

<成果> 蔵書冊数の増加により学校図書が充実した。また、学校図書館蔵書管理ネットワークシステムを活用し、図書の有効活用を図ることができた。

2 学校教材整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

(1) 学校教材備品整備事業

学習指導要領に基づき、計画的に教材用備品の整備を行った。

○整備金額 小学校 1,831,469 円 中学校 1,425,615 円 義務教育学校 1,991,128 円

<成果> 時代のニーズに合った教材用備品の整備により、学習環境の充実を図ることができた。

(2) 学校理科教材整備事業

学習指導要領に基づき、毎年度、理科教育用備品を計画的に整備している。令和4年度は、小学校1校、義務教育学校（前期課程1校、後期課程1校）2校で理科教育用備品を整備した。

○整備金額 1,035,870円（内、国庫補助金485,000円）

<成果> 理科教育に必要な備品を計画的に整備したことにより、学習環境の充実を図ることができた。

3 情報教育推進事業

- (10款2項2目 小学校コンピューター教育振興事業費、
- 10款3項2目 中学校コンピューター教育振興事業費、
- 10款4項2目 義務教育学校コンピューター教育振興事業費)

<主な事業費>

情報教育環境等の維持管理

○学校教育用ICT関連機器メンテナンス業務委託料

小学校 1,706,100円 中学校 1,621,400円 義務教育学校 2,117,500円

○校務用ノートパソコン等機器一式借上料

（校務用PC、プリンター、サーバー、関連ソフトウェア等のリース契約）

小学校 10,320,948円 中学校 7,696,656円 義務教育学校 8,951,976円

○PC、ICT機器等修繕料

小学校 326,150円 中学校 195,250円 義務教育学校 342,650円

GIGAスクール構想推進関係

○学校タブレット端末用フィルタリングソフト更新業務委託料

小学校 1,708,960円 中学校 975,040円 義務教育学校 1,846,240円

○教職員パソコン用ソフトウェアライセンス借上料

小学校 726,000円 中学校 528,000円 義務教育学校 825,000円

○統合型校務支援システム使用料 162,580円

<成果> GIGAスクール構想に基づいて整備した校内通信ネットワーク及び児童・生徒1人1台のタブレット端末を活用し、ICT教育を推進した。また、各学校に導入されている校務用PC、ICT機器の定期的な点検とメンテナンスの実施等により、通信障害などのトラブルに迅速に対応し、情報教育環境の整備に努めた。

4 学校施設整備・管理事業

- (10款2項1目 小学校管理運営事業費、10款3項1目 中学校管理運営事業費、
- 10款4項1目 義務教育学校管理運営事業費)

各学校施設については、老朽化による突発的な修繕が年々増加する傾向にあり、児童・生徒の安心・安全を守るため、施設の計画修繕及び緊急修繕を行い施設の維持管理を行った。

(修 繕)

	修 繕 名	請 負 額
小学校	日新小学校体育館照明修繕	5,940,000 円
	日新小学校エアコン設置修繕	4,345,000 円
	本合海小学校体育館屋根塗装修繕	3,696,000 円
	新庄小学校教室棟 2 階トイレ洋式改修修繕	3,438,600 円
	本合海小学校 1 階トイレ洋式改修修繕	1,601,600 円
	その他修繕 71 件	17,955,124 円
	学校配当分	95,656 円
	計	37,071,980 円
中学校	日新中学校校舎棟 LED 照明修繕	4,836,700 円
	新庄中学校エアコン設置修繕	1,177,000 円
	新庄中学校 3 階 F 組エアコン設置修繕【緊急修繕】	495,000 円
	八向中学校エアコン設置修繕	995,500 円
	八向中学校電灯用変圧器交換修繕	924,000 円
	その他修繕 21 件	7,630,216 円
	学校配当分	36,740 円
	計	16,095,156 円
義務教育 学校	萩野学園電話機自動応答装置設置修繕	352,000 円
	明倫学園体育館テニスコートライン引き修繕	803,000 円
	萩野学園屋上プール雨水排水管修繕【緊急修繕】	374,000 円
	萩野学園北校舎 3 階女子トイレ換気扇交換修繕【緊急修繕】	217,800 円
	萩野学園全熱交換器給気ダクト防露修繕	176,000 円
	その他修繕 11 件	529,100 円
	計	2,451,900 円

(備 品)

	備 品 名	購 入 額
小学校	本合海小学校プール用人工芝	165,000 円
	日新小学校音楽室用パワーアンプ	49,500 円
	その他備品 8 件	156,200 円
	計	370,700 円
中学校	日新中学校体育授業用柔道畳	484,000 円
	新庄中学校紙パック式掃除機	39,600 円
	その他備品 2 件	68,750 円
	計	592,350 円

義務教育 学校	萩野学園児童用机 103 台・椅子 41 脚	1,488,905 円
	萩野学園生徒用机 22 台・椅子 22 脚	362,516 円
	明倫学園朝礼台	154,000 円
	その他備品 4 件	159,720 円
	計	2,165,141 円

<成果> 学校施設の保守点検及び法定点検を行うとともに、計画的に修繕を実施した。また、設備の不具合等について早期に対応し、安全・安心な教育環境の維持・管理に努めた。

5 義務教育学校建設事業（10 款 4 項 4 目 明倫学園建設事業費）

施設一体型義務教育学校「明倫学園」について、地域に根ざした学校として整備を進めた。

<主な事業費>

グラウンド整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
明倫学園グラウンド整備工事	契約金額 364,390,400 円 内 4 年度支出額 0 円
明倫学園グラウンド整備工事の内 既存工作物等 解体工事	契約金額 5,871,800 円 内 4 年度支出額 5,871,800 円
明倫学園グラウンド整備工事の内 機械設備工事	契約金額 5,480,200 円 内 4 年度支出額 5,480,200 円
明倫学園グラウンド整備工事の内 電気設備工事	契約金額 43,375,200 円 内 4 年度支出額 43,375,200 円
明倫学園グラウンド整備工事の内 用具庫建設工 事	契約金額 16,968,600 円 内 4 年度支出額 16,968,600 円
明倫学園グラウンド整備工事監理業務委託	契約金額 2,607,000 円 内 4 年度支出額 0 円
明倫学園グラウンド整備工事再積算業務委託	契約金額 1,218,800 円 内 4 年度支出額 1,218,800 円
	4 年度支出額 72,914,600 円

建物周辺外構整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
明倫学園建物周辺外構工事	契約金額 234,850,000 円 内 4 年度支出額 93,940,000 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 機械設備工事	契約金額 32,780,000 円 内 4 年度支出額 13,112,000 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 電気設備工事	契約金額 13,310,000 円 内 4 年度支出額 5,320,000 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 自転車置き場建 設工事	契約金額 31,240,000 円 内 4 年度支出額 12,496,000 円
明倫学園建物周辺外構工事監理業務委託	契約金額 3,311,000 円 内 4 年度支出額 0 円
明倫学園外構工事再積算業務委託	契約金額 696,300 円 内 4 年度支出額 696,300 円
	4 年度支出額 125,564,300 円

旧校舎解体工事

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
旧明倫中学校解体工事	契約金額 299,753,300 円 内 4 年度支出額 180,953,300 円

<成果> 令和5年7月の建設事業完了を目指し、グラウンド整備工事及び建物周辺外構工事に着手した。これらの建設事業により、施設一体型小中一貫教育の環境づくりが推進された。

6 安全安心通学プラン推進事業

(1) 通学路安全対策

通学路の危険箇所について、関係機関と共同の安全点検などを行った。

○通学路の危険箇所把握数・・・19箇所

○緊急合同総点検実施箇所・・・1箇所

○安全対策の実施済箇所・・・17箇所うち学校が実施6箇所

<成果> 通学路の点検や危険箇所の把握に努め、緊急に対応が必要な箇所について改善を図ることにより、防犯・交通安全対策を強化することができた。

(2) 通学手段確保対策（10款1項2目 通学手段確保対策事業費）

路線バスを利用する児童・生徒の保護者に対して、交通費の全額補助を実施した。

○夏季補助申請人数 15人分

○冬季補助申請人数 45人分

○通学手段確保対策事業費補助金 850,851円

<成果> 路線バスを利用する児童・生徒の保護者負担を軽減するとともに、スクールバスの安全運行に努め、安全・安心な通学環境を維持することができた。

7 奨学支援事業（10款1項2目 教育委員会事務局運営事業費）

将来の担い手となる若者の回帰定着等を促進し、不足する人材を確保するため、次の事業を行った。

(1) ふるさと創生人材確保事業

人材が不足する理工系、保育系及び看護系の学生へ支援を行うため、最上育英会に負担金を支出して月額4万円の奨学金を貸与する。学校卒業後6カ月以内に市内の事業所等へ就職した場合は、奨学金の返還が半額免除となる。

○最上育英会への負担金 17名分 8,160,000円

<成果> 市への定着を促すことにより、地域を支える人材の育成と確保につなげることができた。

(2) やまがた就職促進奨学金返還支援事業

山形県と連携して若者の回帰・定着を促進し地域のリーダー的人材を確保するため、県基金（県・市町村共同で積立）を活用し、奨学金の貸与を受けている学生を対象として、奨学金返還に係る支援を行う。

○令和4年度新規支援対象者 8名分 3,120,000円（基金より充当（市負担なし））

（出捐金累計額 44名分 13,998,000円）

<成果> 本市の将来を担う若者を支援することにより、本市への回帰、地元への定着に向けた一助となった。

学校教育課

1 令和4年度児童生徒の在籍状況（令和4年5月1日現在）

各学校の児童生徒数を把握し、関係諸法に基づき、適正な学級編制並びに教職員配置を行った。

区分	学校数	学級数	児童生徒数	教職員数	備考
小学校	4校	48学級	909名	92名	教員・養教・事務・栄養・市職他
中学校	3校	27学級	502名	65名	教員・養教・事務・市職他
義務教育学校	2校	50学級	993名	102名	教員・養教・事務・栄養・市職他
合計	9校	125学級	2,404名	259名	※学校基本調査

<成果> 正確な状況把握により、各学校における教育の機会均等及び義務教育水準の維持向上につながった。

2 学校経営指導事業

教育基本法の趣旨にのっとり、各学校における組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導などについて、経営上の課題を把握しながら諸会議や学校訪問を通して指導を行った。

・訪問回数 49回（教育委員会訪問 4回・教育長訪問 27回・指導主事訪問 18回）

<成果> 各学校を訪問し、学校経営の改善、授業改善への指導・助言を行ったことで、学校の活性化及び教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育の振興につながった。

3 児童生徒及び教職員の健康管理（疾病の早期発見と予防）

（10款2項3目 小学校保健対策事業費、10款3項3目 中学校保健対策事業費、10款4項3目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法等に基づき、各学校における保健管理及び安全管理として、児童生徒健康診断及び教職員健康診断、ストレスチェックを実施した。

・児童生徒健康診断実施期間：4月～6月

(1) 内科検診 (2) 眼科検診 (3) 歯科検診 (4) 耳鼻科検診
(5) 結核検診 (6) 心電図検査 (7) 尿検査

・教職員健康診断、ストレスチェック実施日：7月28日、8月4日

<成果> 感染症対策を講じながら、児童生徒並びに教職員の健康の保持増進と学校保健を推進したことで、学校教育が円滑に行われた。また、教職員ストレスチェックを行い、各自が自己のストレスを認知することで、精神面における健康管理を行うことができた。

4 就学時健康診断の実施

（10款2項3目 小学校保健対策事業費、10款3項3目 中学校保健対策事業費、10款4項3目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法の趣旨に基づき、来年度の就学児を対象に下記の健康診断等を実施した。

(1) 内科検診 (2) 眼科検診 (3) 歯科検診 (4) 視力検査 (5) 聴力検査
(6) ことばの検査 (7) 知能検査 (8) 教育相談

・会場 4箇所（新庄小9/6、明倫学園9/8、日新小9/13、萩野学園9/15）

<成果> 就学児の健康状態等を把握することで、新年度における指導が円滑に行われた。

5 補助金等の交付状況

(1) 各種大会出場奨励事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費)
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

児童生徒が個人又は団体として予選大会を勝ち進み、東北大会以上の大会に出場する場合には、各学校からの申請をもとに出場奨励費及び出場助成金を支給した。

・交付額 小学校 【東北大会】 0 人 0 円 【全国大会】 0 人 0 円
中学校 【東北大会】 10 人 303,046 円 【全国大会】 11 人 543,143 円
義務教育学校【東北大会】 0 人 円 【全国大会】 7 人 113,388 円

<成果> 出場奨励費を支給することで、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興につなげ、大会に参加する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。

(2) 就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費交付事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

生活保護世帯、生活保護に準ずる世帯、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者、及び被災児童生徒の保護者に対し、教育に要する経費の一部を補助した。

・交付先 要保護及び準要保護児童生徒の保護者と特別支援学級在籍児童生徒の保護者
東日本大震災被災児童生徒の保護者
・交付額 28,476,093 円

	就学援助費目(支給人数)	実支給額	国庫・県補助金
入学前	小学校入学前準要保護児童援助費(13人)	657,800円	
	中学校入学前準要保護児童援助費(16人)	918,400円	
	義務教育学校入学前準要保護児童援助費(15人)	813,400円	
小学校	要保護及び準要保護児童援助費(107人)	9,005,891円	要保護児童生徒援助費補助金 11,000円
	特別支援教育就学奨励費(26人)	980,678円	特別支援教育就学奨励費 490,000円
中学校	要保護及び準要保護生徒援助費(48人)	6,144,732円	要保護児童生徒援助費補助金 47,000円
	特別支援教育就学奨励費(16人)	926,497円	特別支援教育就学奨励費 463,000円
義務教育学校	要保護及び準要保護児童生徒援助費(80人)	7,905,045円	
	特別支援教育就学奨励費(26人)	1,123,650円	特別支援教育就学奨励費 562,000円

※国庫・県補助金は実支給に対する財源となる。

<成果> 生活保護世帯等の経済的に困窮する保護者に、教育に要する経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と児童生徒の精神的負担の緩和を図ることができ、より良い就学環境が整えられた。また「入学準備学用品費」を費目追加し、小中義務教育学校入学前に支給することで、入学準備にかかる経済的負担をより軽減した。

(3) 学校給食補助金交付事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

学校給食運営委員会に対し、学校給食費 1 食あたり小学生は 15 円、中学生は 20 円の補助金を交付した。

・交付額	小学校	4 校	2,713,890 円
	中学校	3 校	1,887,980 円
	義務教育学校	2 校	3,182,670 円

<成果> 補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進することができた。

(4) 学校給食の運営にかかる負担金支出事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

学校給食運営委員会に対し、学校給食費のうち保存食等の学校給食の運営に係る経費を負担した。

・支出額	小学校	4 校	253,500 円
	中学校	3 校	205,960 円
	義務教育学校	2 校	258,180 円

<成果> 学校給食衛生管理基準に基づく保存食や微生物検査等にかかる経費等を負担することで学校給食事業の円滑な運営に寄与した。

(5) 学校給食物価高騰対策支援事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

学校給食運営委員会に対し、給食用食材の物価高騰分として、学校給食費 1 食あたり小学生は 34 円、中学生は 41 円の補助金を交付した。

・交付額	小学校	4 校	6,096,132 円
	中学校	3 校	3,795,575 円
	義務教育学校	2 校	6,851,430 円

<成果> 補助金を交付することで、コロナ禍の物価高騰の状況においても保護者の学校給食費の負担を引き上げることなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進することができた。

6 小中義務教育学校給食管理運営事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

安全・安心で良質な栄養バランスのとれた学校給食の安定供給に努めた。

(1) 栄養教諭を核とした食育の推進

献立検討会を通して食育の推進に向けた情報提供等を行った。

- ・推進体制 栄養教諭 3名 学校栄養士 2名 調理師等 37名（直営 6名、委託 30名）

(2) 地産地消による学校給食の充実

市農林課と連携し、地場産作物を積極的に取り入れた学校給食の提供を行った。

- ・給食で提供した主な地場産作物

大根 2,196 k g、白菜 1,337 k g、ねぎ 1,641 k g、里芋 435 k g、わらび 123 k g、
ほうれん草 586 k g、みず 164 k g、きのこ 1,469 k g、りんご 275 k g 等

(3) 学校給食調理師研修会の開催

学校給食従事者の衛生管理に対する意識を高め、食中毒等の事故発生を未然に防止するとともに、他の給食施設を見学することで知識を深めることを目的に研修会を開催した。

- ・研修日 7月28日（木）
- ・参加者 12名
- ・内容 最上保健所作成 食品衛生に関する資料配布
金山町共同調理場見学

(4) 衛生管理の実施

- ・検便（赤痢菌・サルモネラ・大腸菌） 月2回実施
- ・ノロウイルス検便 月1回実施（10月～3月）

<成果> 栄養摂取状況を確認しながら栄養バランスのとれた献立を作成しつつ、地場産農産物を給食に取り入れ、食育を推進することができた。また、学校給食従事者に対する研修の実施により衛生管理に対する意識を高めることができた。

7 小中一貫教育推進事業（10款1項5目 小中一貫教育推進費）

義務教育9年間を通して、学力向上、生徒指導、ふるさと学習の充実に努めた。

- ・9年間でめざす子どもの姿と指導の共有
- ・各小中義務教育学校運営協議会・各中学校区小中一貫教育推進協議会の開催
- ・新庄市小中一貫教育推進協議会の開催

<成果> 義務教育学校における成果検証と発信、小中一貫教育推進協議会における意見交流等を通して、地域に根ざした特色ある小中一貫教育を進めることができた。

8 教育の日推進事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

新庄市教育の日及びコスモス教育週間を設定し、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりの推進に取り組んだ。

- ・コスモス教育週間（文化の日 11/3 前後 2週間）の周知
令和4年10月20日（木）～11月17日（木）

- ・各教育機関の活動写真の展示や活動を紹介する掲示等

令和4年10月20日（木）～11月8日（火）ゆめりあ 花と緑の交流広場

令和4年11月12日（土）～11月17日（木）新庄市民プラザ 市民ホール

- ・令和4年11月12日（土）コスモスデー記念行事 新庄市民プラザ

（ふるさと学習発表会、いきいき夢ステージ発表）

委託料 230,000円

- ・コスモス教育週間の推進（期間中における文化的な学校行事の集中的な実施）

＜成果＞ 活動写真の展示によって、教育機関全体の活動の様子や、子どもたちの活躍する姿を広く発信することができた。3年ぶりに実施したふるさと学習発表会では、児童生徒がICT機器を活用し、パワーポイントや動画等で工夫して地域の課題やPR方法について発表することで、市民の教育に対する関心を高めることにつながった。

9 学校のつばさ支援事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

各学校が地域と連携しながら、児童生徒の実態や地域の特性に応じた特色ある学校づくりを計画的かつ柔軟に推進するとともに、自主的で創造的な取組みを実践した。

- ・推進体制 中学校区ごとに「特色ある学校づくり推進委員会」を設立し、事業を展開した。

新庄中学校区	新庄中、新庄小	委託料	681,000円
日新中学校区	日新中、日新小	〃	921,000円
八向中学校区	八向中、本合海小、升形小	〃	552,000円
明倫学園		〃	869,000円
萩野学園		〃	747,000円

＜成果＞ 保護者や地域住民等からの協力により多様な教育活動を実施することができ、児童生徒の地域への新たな学びに繋がった。事業を通し各学校において地域に根ざした特色ある教育活動の具現化を進めることができた。

10 特別支援教育及び就学指導推進事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

障がいをもつ幼児・児童生徒が能力・適性にあった望ましい教育が受けられるように、障がいの程度に応じた適切な判断と就学指導及び支援を行った。また、特別支援教育センターを設置し、特別支援指導員による学校支援や、適正就学に向けた関係機関との連携を行った。

- ・推進体制 教育支援委員会 20名（医師、小中義務教育学校の教職員、福祉関係者等）
年2回実施（7月、10月）
在学児童生徒及び就学時の適正就学に向けた相談・判断
特別支援指導員 1名

＜成果＞ 巡回相談を行い、障がいをもつ幼児・児童生徒の教育的なニーズを把握し、生活や学習の困難を改善又は克服するための指導や支援、保護者との面談を行ったことで適正就学に結びつけることができた。

11 不登校適応教室等指導事業（10款1項3目 不登校適応教室指導事業費）

不登校傾向及び不登校である児童生徒に対し、適応指導教室における週3回（月・水・金）の学習支援や月2回程度の体験活動（ものづくり、栽培・販売、キャリア学習等）、また、学校へ訪問しての学習支援や相談活動、関係機関との連絡会への参加や電話相談など、個々に応じた必要な支援を行った。

・推進体制 教育相談員 3名 教科指導員 3名

<成果> 不登校傾向の児童生徒はもちろんのこと、その保護者を含めた相談活動を積極的に行い、学校と連携しながら、学校生活の適応につながるような支援を行うことができた。

12 山大エリアキャンパスもがみ運営事業（教育実習生受入れ関連）

（10款1項3目 学校教育指導事業費）

学校における教育活動や地域の活性化を目的に、山形大学との連携のもと、教育実習の大学生の受け入れを行った。

・教育実習生の受入人数 9人

・教育実習生の受入先 新庄小、日新小、本合海小、新庄中、日新中、明倫学園

<成果> 教育実習生を受け入れることで、受け入れ校は授業づくりや指導方法、学校と地域とのつながり等を見つめ直す機会となり、教育の活性化につなげることができた。また、学生においては、本市ならではの小中一貫教育や地域と密着した教育活動などを学ぶことができた。

13 学校・家庭・地域連携協働推進事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

各学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校における働き方改革の取組を推進するため、学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助金を活用し、協働活動支援員を配置した。また、事業の更なる充実を図るため、市内の小学校2校に市単独予算において学校司書を配置した。

・推進体制 小中義務教育学校

学校司書 2名（新庄小学校、日新小学校）

協働活動支援員 7名（上記2校を除く学校、各1名）

<成果> 学校図書館に常時職員がいることにより、図書館の機能強化や読書好きな児童生徒を増やすことができ、学力の向上と学校教育全般の充実を図ることができた。また、学校司書を中心とした情報の共有化や連携の強化により、各校において安定した図書館運営を維持することができた。

14 国際理解教育推進事業（10款1項3目 国際理解教育推進事業費）

学校において英語により親しみ、異文化交流やコミュニケーション能力の育成を日常的にできることを目的に4名のALTを配置した。また、授業で学んだ英語を活用し、国際理解の促進を図るためにイングリッシュキャンプを開催した。

・ALTの学校派遣日数累計 669日

<成果> 児童生徒が外国語に触れ、外国の生活や文化に慣れ親しむ活動が増えたことで、発達段階に応じた外国語指導が充実した。

15 教育研究所事業

教員の資質向上及び教育実践の活性化を目指し、教育の充実に関する調査・研究、教員研修等の各実践研究を進めた。

- ・学校経営研修講座、学校運営研修講座、教務主任研修講座の実施
- ・学力向上研究委員会、生徒指導委員会、特別支援教育委員会、英語教育委員会、ICT委員会、社会科指導資料作成委員会、所報編集委員会の開催

<成果> 学習指導要領への対応、ICTの活用等の喫緊の教育課題に対する研修等を、外部講師を招聘しながら年間を通して計画的に開催したことで、教員の資質向上及び教育実践の充実と教育課題を解決することに役立った。

16 標準学力検査実施事業

(10款2項2目 小学校教育振興事業費、10款3項2目 中学校教育振興事業費、
10款4項2目 義務教育学校教育振興事業費)

義務教育期間の各段階において、学習内容の定着を確認するために、標準学力検査(NRT)と知能検査を実施した。

- ・学力検査
小学校 2・3年生 2教科(国語・算数)
4・5年生 4教科(国語・算数・社会・理科)
6年生 5教科(国語・算数・社会・理科・英語)
中学校 1～3年生 5教科(国語・数学・社会・理科・英語)
- ・知能検査
小学校 2・4・6年生
中学校 2年生

<成果> 客観的な尺度を用いた学力の定着を確認し、課題の分析をすることで授業の改善につなげることができた。

17 児童生徒の個別支援事業 (10款1項3目 児童生徒個別支援事業費)

学校生活や学習を行う上で特別な支援が必要な児童生徒や、その児童等が在籍する学級への教育的支援を行うため、必要とする各学校に個別学習指導員を配置した。併せて3名の特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級における支援を強化した。

- ・推進体制

個別学習指導員 21名

新庄小：4人 日新小：6人 新庄中：1人 明倫学園：6人 萩野学園：4人

特別支援教育支援員 3名

新庄小：1人 日新小：1人 日新中：1人

<成果> 学校教育活動に参画し必要な支援を行うとともに、教員との協力的指導を行うことで、当該児童生徒を含む個々の学習と学級全体の活動を充実させることができた。

18 部活動指導員配置促進事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

教職員の多忙化の要因の一つとなっている中学校の部活動指導において担当教職員の負担を軽減させるため、市内中学校 2 校・義務教育学校 2 校に部活動指導員を配置した。

・推進体制

部活動指導員 5 名

新庄中：2 人 日新中：1 人 明倫学園：1 人 萩野学園：1 人

<成果> 部活動指導員の配置により、部活動を担当している教員が保護者面談や進路指導など部活動以外の時間を確保することができた。

19 新聞を活用した教育活動への支援事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

新聞を読む機会を増やし授業に役立てることで、情報・読解力を向上させ、地域の記事に触れることを通して郷土愛の醸成を図るため、市内中・義務教育学校（後期課程）に新聞を配布した。

・対象 市内中義務教育学校（後期課程）の全学年 33 学級

・実施期間 令和 4 年 5 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日（夏休みを除く 9 か月間）

<成果> 新聞に親しむ生徒が増えてきており、個々の興味関心に合わせた学びを広げている様子が見えた。地域や県内の話題の記事を読むことで、地域への愛着の気持ちが培われてきている。

社会教育課

1 社会教育委員会議の開催（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

6 月 1 日（水） 1 回開催

＜成果＞ 市が実施する社会教育事業について、有識者である委員から意見を頂くとともに、市の社会教育の方向性などについて助言を頂き、効果的な事業の展開につなげることができた。

2 新庄市成人式の開催（10 款 5 項 1 目 成人式開催事業費）

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた、令和 2・3 年度の成人式と、令和 4 年度の成人式を実施した。また、成年年齢の引下げを受け、名称を令和 2 年度は「思い出を語る会」、令和 3 年度、令和 4 年度は「二十歳を祝う会」として開催した。

対象者 令和 2 年度対象者 456 人（平成 11 年 4 月 2 日～平成 12 年 4 月 1 日生まれ）

令和 3 年度対象者 457 人（平成 12 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日生まれ）

令和 4 年度対象者 414 人（平成 13 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれ）

＜成果＞ 例年、新成人に自覚を促すとともに、ふるさとへの意識を再確認する機会を提供することを目的に成人式を開催している。開催準備のため実行委員会を組織し、成人式の企画や新成人への情報提供を行った。こうした活動を通し、地域を支える人材の育成が図られた。

3 学校・家庭・地域の連携協働推進（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

(1) 新庄市放課後子ども教室

萩野地区公民館 5 月～2 月（毎週月曜日開催） 25 日間 参加者 萩野学園児童延べ 321 人

本合海小学校 5 月～2 月（月 2 回程度開催） 12 日間 参加者 本合海小児童延べ 185 人

(2) 家庭教育の充実

- ・やまがた子育て講座（保護者等を対象とした講演会） 開催数：2 回 参加者：727 人
- ・幼児共育ふれあい広場（幼児・保護者等を対象にふれあい体験講座） 開催数：5 回（5 保育施設）
参加者：205 人

(3) コミュニティ・スクールの推進

- ・地域とともにある学校づくりを推進するため、市内全校に学校運営協議会制度を導入した。

新庄小学校運営協議会 委員数 11 名 4 回開催

日新小学校運営協議会 委員数 11 名 3 回開催

本合海小学校運営協議会 委員数 6 名 3 回開催

升形小学校運営協議会 委員数 6 名 3 回開催

新庄中学校運営協議会 委員数 9 名 3 回開催

日新中学校運営協議会 委員数 9 名 3 回開催

八向中学校運営協議会 委員数 7 名 3 回開催

萩野学園運営協議会 委員数 12 名 4 回開催

明倫学園運営協議会 委員数 16 名 3 回開催

- ・コミュニティ・スクール研修会を実施し、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進について共通理解を図った。 8 月 5 日（金）開催 参加者 44 名
- ・学校のニーズに応じた地域学校協働活動のコーディネートを実施した。

<成果> 新型コロナウイルス感染症の影響により活動や事業を中止したこともあり実施回数や参加者は少なくなったが、小学生の放課後等の居場所を提供するとともに、家庭教育力向上のため学校や保育所などの希望に応じた講師を選定し、家庭教育について考える機会を提供することができた。また、市内全9校で学校運営協議会制度を導入したことで、市内全域で地域とともにある学校づくりを推進することができた。

4 青少年健全育成事業（10款5項1目 社会教育総務事業費）

(1) 高萩市・新庄市児童交流事業（新庄市青少年育成市民会議事業）

①高萩ジャンボリー（新庄市の児童が茨城県高萩市を訪問）

新型コロナウイルス感染症予防の観点から事業を中止。

代替事業として新庄市民プラザで開催された第13回キッズ☆フェスタにて青少年育成推進委員会のブースを展開し、バルーンアート作りのワークショップや新庄市立図書館で開催された図書館まつりにて新庄市内の児童に向けて高萩市児童交流事業を中心とした青少年育成推進委員会の活動を紹介するブースを設けた。

②萩っ子歴史探険隊（高萩市の児童を新庄市へ受入れ）

新型コロナウイルス感染症予防の観点から事業を中止。

(2) 新庄市子ども芸術学校 4部門各7～30回開催(延べ68回) 参加登録児童58人

(3) 青少年ボランティア体験

登 録 者

高校生ボランティアサークル「しずく」40人、登録制青少年ボランティア「しずくR」14人

中学生ボランティア「しずく Jr」18人、青年ボランティアサークル「oldrop」12人

実 施 回 数 39回

延べ参加人数 196人

延べ活動時間 912.5時間

<成果> 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、高萩市との児童交流事業が中止となったが、各種事業に協力いただいている青少年育成推進員・子ども芸術学校指導者・各種ボランティア受け入れ団体に感染症対策などの創意工夫を行っていただき、各種事業を開催した。コロナ禍においても活動ができたことにより、青少年健全育成の一助となり、指導者の地域住民と青少年との世代間交流の場をつくることができた。また、高校進学後もボランティアの参加意向を示していることから、継続した社会活動への参加意識を醸成することができた。

5 男女共同参画社会推進事業（10款5項1目 社会教育総務事業費）

・男女共同参画週間（6/23～6/29）とキャッチコピー、新庄市男女共同参画の概要について市報6月号で市民に周知した。

・男女共同参画に係る様々な課題への対応を図り、本市における男女共同参画を一層推進するため、策定委員及び検討委員を選任して「第2次新庄市男女共同参画計画」を策定した。

<成果> 多くの市民の意識向上を図ることで、新庄市男女共同参画計画を推進することができた。

6 地域公民館整備助成事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

市内の町内・集落等が社会教育活動を推進するため、地域公民館を新築・増築・改修、又は既設建物を取得もしくは敷地を購入するための補助を行った。

地域公民館整備助成件数 5 件 助成額 438,000 円

<成果> 地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、敷地購入及び改修などへの補助を行うことにより、地域における活動を推進することができた。

7 指定管理者による生涯学習施設の管理運営

- ・指定管理者制度活用施設

市民プラザ、市立図書館、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄

- ・上記のうち、利用料金制を導入している施設

市民プラザ、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄

◆市民プラザ（10 款 5 項 2 目 市民プラザ管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和3年4月1日～令和8年3月31日）

指定管理料 44,495,000 円

②利用状況

・利用者数 64,561 人（前年度 50,576 人 13,985 人増）

・利用料金 7,652,170 円（前年度 6,725,940 円 926,230 円増）

③施設整備

・修繕料 9,940,040 円

舞台吊物機構ワイヤーロープ等交換修繕、冷却塔駆動部更新修繕、照明灯リモコンスイッチ・リモコンリレー交換修繕 等

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月25日(水) 会場 新庄市民プラザ 出席委員6人

(2) 各種事業の開催

①指定管理者提案事業

プラザ陶芸教室	5月22日(日)～ 12月4日(日)	参加者延べ145人
虹の交流塾	5月28日(土)～ 11月26日(土)	参加者延べ355人
園芸講座	7月7日(木)、 10月27日(木)	参加者延べ47人
スマホ教室	7月22日(金)～ 11月11日(金)	参加者延べ48人
市民プラザ名画座	7月24日(日)～ 2月26日(日)	参加者延べ387人
キッズドリームワーク	7月31日(日)	参加者180人
夏休み！宿題ひろば	8月4日(木)～ 5日(金)	参加者延べ23人
料理教室	8月21日(日)～ 3月12日(日)	参加者延べ100人

外国人サポーター養成講座	9月17日(土)～ 12月17日(土)	参加者延べ56人
キッズフェスタ	9月25日(日)	入場者900人
映画事業	10月10日(月)	参加者延べ169人
がんばれ受験生！応援企画	2月1日(水)～ 2月24日(金)	参加者延べ60人

②市からの委託事業

日本語教室	4月21日(木) ～11月10日(木)	受講者延べ166人
県美展・子ども県展 新庄巡回展	11月2日(水)～ 11月7日(月)	入場者延べ2,031人

③継続事業

月釜	4月24日(日)～ 11月20日(日)	来場者延べ219人
ふれあい市民ギャラリー	4月～3月	幼児から一般まで幅広い作品を展示 年18回、6団体・3個人、約2,200人
市民プラザまつり	発表：3月5日(日) 展示：3月1日(水) ～5日(日)	来場者延べ1,100人

(3) 市民活動交流ひろば事業

利用状況

- ・各種機器利用料金 872,000円(前年度868,220円 3,780円増)
- ・機器利用、相談等来室者数 1,412人(前年度1,336人 76人増)

◆図書館(10款5項4目 図書館管理運営事業費)

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ(令和3年4月1日～令和8年3月31日)

指定管理料 48,622,000円

②利用状況

- ・来館者数 65,593人(前年度69,842人 4,249人減)
- ・貸出人数 21,992人(うち児童2,722人)
(前年度22,559人 567人減 うち児童3,117人 395人減)
- ・貸出冊数 114,672冊(うち児童書55,167冊)
(前年度121,142冊 6,470冊減 うち児童書59,894冊 4,727冊減)
- ・受入れ冊数 購入2,475冊(図書購入費4,500,000円) 寄贈665冊
- ・蔵書冊数 143,407冊
(一般書98,302冊、郷土資料15,334冊、児童書27,583冊、雑誌2,188冊)

③施設整備

- ・修繕料 2,743,400円
屋根南東部雨漏り修繕 等

④図書館協議会の開催 5月20日(金) 出席委員5人

(2) 各種事業の開催

第 59 回 読書感想文コンクール (市委託事業)	対象：市内小・中・高校生及び一般 応募作品 112 点 12 月 3 日(土)表彰式
ブックスタート (市委託事業)	4 カ月健診時にあかちゃんに 2 冊の絵本をプレゼント 対象者 191 組
ハローブック	2 歳児歯科健診時に読み聞かせと図書館の紹介と貸し出し 年間 12 回実施 参加者数 191 組
あかちゃんタイム	毎週水曜日 9:30～12:00 乳幼児を連れた保護者が気兼ねなく図書館を利用できる日を設定 参加人数 871 人 (399 組)
えほんぱーく	図書館ボランティアサークルかやのみ会による読み聞かせ 水曜日 10:00～ 年 10 回 参加者 60 人
おはなし会	新庄南高図書委員によるお話会 6 月 18 日開催 参加者 10 人
親子でえほんライブラリー	子育て支援センターとの連携 5 月 17 日～3 月 10 日 (年 6 回) 参加者 67 組 貸出冊数 57 冊
公民館配本	選書、配本と図書の入れ替え (年 3 回) 貸出冊数 萩野地区公民館 221 冊、わくわく新庄 207 冊、 八向地区公民館 41 冊
移動図書館	移動図書館車にて、各施設での貸出返却を実施 保育所など (12 回) 7,219 冊 小・中学校 (18 回) 4,396 冊 神室荘 (11 回) 1,243 冊
戦争と平和のおはなし	8 月 6 日(土) 参加者 15 人
理科読	12 月 24 日(土) 参加者 20 人
英語と絵本の広場	第 3 日曜日 (11 回) 参加者 84 人
夏休みおべんきょうそ うだん	7 月 29 日(金)、30 日(土) 参加者 52 人
おりがみ教室	7 月 23 日(土) 参加者 15 人
くらげ講座	5 月 5 日(木) 参加者 23 人
図書館まつり	絵本作家サトシンさん絵本ライブ、今村翔吾のまつり旅足跡展 など 10 月 29 日(土) 来館者 380 人
図書館の怪	12 月 4 日(日) 参加者 24 人
情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本めぐり旅 図書館サポーターズストーリーナッツ会員 ・季刊誌「かやの木便り」年 4 回発行 毎回 500 部を各学校、施設へ ・Facebook 年間記事アップ数 139 回 閲覧数 29,982 回 ・インターネット蔵書検索による蔵書情報、図書館情報の発信 利用累計 40,163 回
施設連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の里情報館企画展との連携 図書の貸出 2 回 34 冊 ・ゆめりあちび鉄 図書の貸出 10 回 430 冊 ・県農業振興課 (伝承野菜) 図書の貸出 5 回 193 冊 図書館連携展示 2 回 ・里親パネル展示 山形県立図書館の使い方

◆市民文化会館（10款5項5目 市民文化会館管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
指定管理料 49,803,000円

②利用状況

- ・利用者数 71,498人（前年度48,838人 22,660人増）
- ・利用料金 8,471,450円（前年度6,956,270円 1,515,180円増）

③施設整備

- ・修繕料 4,468,750円
真空ヒーター熱交換器交換修繕 等

④新庄市民文化会館運営審議会の開催 5月23日(月) 会場 市民文化会館 出席委員4人

(2) 各種事業の開催

①指定管理者提案事業（自主事業企画委員会による事業の企画・実施）

陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会	5月15日(日)	1,000人
令和4年度県民芸術祭開幕記念式典・記念事業	9月4日(日)	800人
宝くじ文化公演 森山良子コンサート	10月8日(土)	2,000人
岸谷香アコースティックコンサート	10月29日(土)	500人
木久扇・好楽ダブル親子会	11月24日(木)	300人
新庄第九を歌う会2022	12月18日(日)	800人

②市からの委託事業

小中学校演劇鑑賞教室	6月2日(木)、 7月6日(水)、8日(金)	3,200人
------------	---------------------------	--------

③継続事業

サマーコンサート	7月24日(日)	200人
第28回市民演劇祭	10月16日(日)、 11月12日(土)、13日(日)	500人
第58回新庄市芸術祭	9月1日(木)～ 12月27日(火)	4,500人
第46回最上地区吹奏楽祭	10月8日(土)	450人
第59回市民音楽祭	11月3日(木)	530人

◆雪の里情報館（10款5項9目 雪の里情報館管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
指定管理料 19,731,000円

②利用状況

- ・利用者数 13,810人（前年度10,666人 3,144人増）
- ・利用料金 701,960円（前年度823,750円 121,790円減）

③施設整備

- ・修繕料 5,220,130円
 高圧ケーブル交換修繕、冷温水発生機1号機溶接部品交換修繕、
 機械室空調冷温水ポンプ交換修繕、エレベーターPLCユニット入替修繕 等

④雪の里情報館運営協議会の開催 5月19日(木) 出席委員3人

(2) 各種事業の開催

①自主事業

水越ゼミナール	5月13日(金)～12月9日(金)	参加者11人
新庄の水辺探訪	6月13日(月)	参加者12人
雪調ガイド研修	9月14日(水)～12月24日(土)	参加者各回10人程度
『雪害』誕生」見て語る会	6月17日(金)	参加者19人
手しごと映画祭	7月16日(土)	参加者212人
雪あそびのジオラマづくり	制作 9月17日(土) 展示 2月25日(土)	参加者18人(小学生)
雪のサイエンスカフェ	11月19日(土)	参加者12人
大鎌邦夫先生講演会	12月10日(土)	参加者15人
ゆきさとオーガニックマルシェ	7月31日(日)、10月30日(日)	参加者延べ404人
雪の里まつり	2月4日(土)、5日(日)	協力団体4団体 参加団体7団体
羊毛織物再び	2月19日(日)	参加者15人
ゆきさとおもしろラリー	8月6日(土)～8月12日(金)	参加者23人
MOGAMI マルシェへの出展	10月1日(土)～10月2日(日)	ワークショップ体験者59人
雪調が取り組んだ手仕事体験	12月17日(土)	参加者27人
自彊術体験	3月5日(日)	参加者15人
LIFE is GOOD わたしにやさしい暮らし方	3月26日(日)	来場者114人

②市からの委託事業

ゆきんこ俳句展	審査 1月22日(日) 表彰 2月5日(日)	最上管内小学校16校 3～6年生 398点
夏のゆきんこクラブ	8月5日(金)	参加者 小学校4～6年生 16人
冬のゆきんこクラブ	1月21日(土)	参加者 小学校4～6年生 11人

◆わくわく新庄（10款5項10目 わくわく新庄運営事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 株式会社東北情報センター（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

指定管理料 20,732,000円

②利用状況

- ・利用者数 40,862人（前年度36,416人 4,446人増）
- ・利用料金 3,716,810円（前年度3,506,700円 210,110円増）

③施設整備

- ・修繕料 1,442,584円
エレベーターランジヤーパッキン他修繕 等

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月25日(水) 会場 新庄市民プラザ 出席委員6人

(2) 各種事業の開催

①自主事業

わくわく新庄デジカメ写真教室	5月14日(土)～9月10日(土)	101人
新庄歴史さんぽ	6月10日(金)	21人
わくわくギャラリー作品展	6月18日(土)～11月19日(土)	—
合気体操教室	7月2日(土)	17人
アート&クラフトフェア	7月30日(土)	48人
夏休み子ども学習会	8月2日(火)、3日(水)	12人
第23回わくわく新庄フェスティバル	9月3日(土)～4日(日)	2,119人
七所明神巡り	10月7日(金)	22人
第22回 わくわく新庄ラージボール卓球大会	10月30日(日)	男子12人 女子17人
秋のセルフメンテナンス講座	11月11日(金)	12人
そば打ち体験教室	12月3日(土)	16人
メイクレッスン講座	1月14日(土)	7人

②共催事業

囲碁教室	4月13日(水)～3月8日(水)	参加者358人 指導者172人
第40回金沢町おさいど雪祭り大会	1月28日(土)	約400人

<成果> 指定管理者による各種事業の実施により、多くの市民に生涯学習の機会を提供することができた。また、適正な施設管理と、利用者の安全を第一に計画的な修繕により、より良い環境の下での生涯学習の場を提供することができた。

8 地区公民館（10款5項3目 地区公民館運営事業費）

(1) 施設管理

①利用者数

- ・萩野地区公民館 4,987人（前年度3,853人 1,134人増）
- ・八向地区公民館 1,392人（前年度1,778人 386人減）

②使用料

- ・萩野地区公民館 181,500円（前年度128,440円 53,060円増）
- ・八向地区公民館 27,250円（前年度36,780円 9,530円減）

③施設整備

- ・修繕料 924,550円
萩野地区公民館 ドレンヒーター修繕 等
八向地区公民館 外灯LED化修繕 等
- ・工事請負費 41,402,900円
八向地区公民館改修工事 25,590,400円
八向地区公民館空調設備改修工事 7,735,200円
旧八向地区公民館解体工事 8,077,300円

④公民館運営審議会の開催

- ・萩野地区公民館 5月18日(水) 出席委員5人
- ・八向地区公民館 5月24日(火) 出席委員6人

(2) 各種事業の開催

①萩野地区公民館

- ・放課後子ども教室 5月～2月の月曜日 計25回
- ・夏休み学習会 7月～8月 計4回 参加者延べ68人
- ・骨コツ貯筋体操教室 月2回火曜日 計14回 参加者延べ140人
- ・初心者料理教室 毎月第3水曜日 計9回 参加者延べ72人
- ・ヨガ教室 6月～7月の木曜日 計7回 参加者延べ101人
- ・実用書講座 毎月第3水曜日 計12回 参加者延べ72人
- ・スポーツ吹き矢教室 1月～3月 計9回 参加者延べ82人
- ・防災講座 7月の木曜日 計3回 参加者延べ67人
- ・健康増進講座 11月の木曜日 計2回 参加者延べ24人
- ・いきいき百歳体操教室 10月～3月の木曜日 計20回 参加者延べ202人
- ・萩野学園読み聞かせサークル「七色の風」 5月～2月
- ・萩野地区公民館だよりの発行 9月及び12月 萩野地区に全戸配布

②八向地区公民館

- ・放課後子ども教室 5月～2月 計12回 参加者延べ185人
- ・スマホ教室 6月21日(火) 参加者数10人
- ・健康講座 9月15日(木) 参加者数15人

<成果> 10月1日より八向地区公民館を旧本合海児童センターへ移転した。

地区公民館の事業によって、子どもから高齢者までの地域住民が幅広い活動をすることができ、世代間交流にもつなげることができた。

9 ふるさと歴史センター

(10款5項8目 ふるさと歴史センター管理事業費、ふるさと歴史センター事業費)

(1) 施設管理

①利用状況

・観覧者数 7,471人(前年度5,578人 1,893人増)

※内無料観覧者 2,527人(前年度2,246人 281人増)

・使用料 1,411,450円(前年度955,300円 456,150円増)

②施設整備

・修繕料 3,156,530円(お祭りホールホリゾン幕・固定ワイヤー等交換修繕、消防設備修繕等)

・工事請負費 22,660,000円(空調設備改修工事)

③収蔵資料現況

考古資料(12,003点)／民俗資料(12,004点)／歴史資料・古文書(71,788点)／

書籍(9,972点)／その他の資料(絵画・写真等)(1,773点)

計107,540点(4年度は資料整理及び寄贈により、収蔵品数270点増)

④ふるさと歴史センター運営協議会の開催 5月31日(火) 出席委員7人

(2) 各種事業の開催

①新庄まつり最優秀山車2台の展示

・歌舞伎部門「祝 勢揃 寿連獅子(千門町若連)」

・物語部門「天孫降臨(下金澤町若連)」

②新庄まつり山車行事顔見世興行(大パネル3200mm×800mmの設置)

18町内の山車風流を歴史センター東側壁面に張り出し

③企画展示 年10回開催

④新庄藩校「明倫堂」講座 年4回 受講登録者54人

⑤第36回みちのく民話まつり

・「夏語り」 7月7日(木) 参加者47人

・「秋語り」 10月15日(土) 参加者64人

⑥伝統芸能育成事業・ふるさと塾(昔語りこども塾)

本合海・升形小学校、萩野・明倫学園で事業展開 対象児童小学2～6年生

発表会 第17回新庄こども語りまつり 2月18日(土) 語り手児童18人

⑦語りの部屋 毎週日曜日(12月・1月休止)

開催日数38日 語り手延べ72人 聞き手数125人

⑧新庄開府400年記念事業

・総会の開催 5月10日(火) 雪の里情報館

・キックオフイベント 直木賞作家：今村翔吾氏トークショー「火喰い鳥に見る新庄人の心意気」

5月14日(土) 新庄市民プラザ 参加者数269名

・今村翔吾のまつり旅歓迎プロジェクト

9月24日(土) すぽーていあ(最上中央公園) 参加者数335名

・啓発看板の設置(市役所本庁舎正面)

・キャッチフレーズ、ロゴマークの活用(市内事業所等)

・のぼり旗の制作・活用(市内公共施設での設置)

<成果> 常設展・企画展においては、これまで同様、新庄の風習やまつり、文化・芸術の特色を紹介できた。また、新庄藩校「明倫堂」講座の開催や令和7年に向けた新庄開府400年記念事業において、学びや広報周知を図ることで市民の郷土史理解への促進につながった。そのほか、新型コロナウイルス感染症予防の対応も落ち着き、伝統芸能育成事業・ふるさと塾においては、昨年中止となったこども語りまつりを開催することで、地域の伝統芸能継承の取組みとすることができた。

10 文化財保護 (10款5項6目 文化財保護管理事業費)

(1) 指定文化財等現状視察

指定及び未指定の文化財について文化財保護審議会委員を中心に現状視察 年2回実施

(2) 保存整備

①国指定史跡新庄藩主戸沢家墓所

- ・史跡新庄藩主戸沢家墓所3号棟差し茅修繕 929,500円
- ・史跡新庄藩主戸沢家墓所7号棟屋根修繕 984,500円

②国登録有形文化財旧農林省積雪地方農村経済調査所

令和5年度以降の基本・実施設計のための保存活用計画の策定 2,132,900円

(3) 維持管理

①名勝おくのほそ道の風景地本合海の維持管理と地域の活性化の推進

- ・本合海協議会 総会 5月(書面会議)
- ・八向楯跡登山道までの河川沿い通路の環境整備 6月18日(土)、9月19日(月・祝)
- ・名勝地紹介リーフレットの制作・活用 500部

②地域団体との協定に基づく市指定史跡の適正な維持管理

- ・角沢街道の丸仏 管理団体:史跡、丸仏を守る会
- ・柳の清水及び句碑 管理団体:金沢新町町内会

(4) 文化財の保護・活用に係る審議等

①文化財保護審議会の開催

7月27日(水)、11月22日(火)、3月16日(木) 3回開催

②文化財指定に向けた調査

- ・塩野原基線 新庄市・鮭川村合同による調査 10月7日(金)
- ・塩野原基線 文化庁調査官による調査 10月19日(水)

<成果> 文化財の適正な保護・管理を行うことで、文化財を本市の宝として次代へ引き継ぐことができた。

11 重文旧矢作家住宅管理 (10款5項7目 重文旧矢作家住宅管理事業費)

(1) 重要文化財 旧矢作家住宅の適正管理及び公開・活用(4月~11月)

一般公開入場者429人(県外199人、県内230人)、(前年度362人 67人増)

(2) 管理委員会の開催

第1回 4月20日(水) 出席委員6人、第2回 11月28日(月) 出席委員6人

(3) 保存整備

- ・重要文化財旧矢作家住宅保存修理工事実施設計業務 2,174,700円
- ・重要文化財旧矢作家住宅保存修理工事監理業務 553,300円
- ・重要文化財旧矢作家住宅保存修理工事 11,517,000円

<成果> 新型コロナウイルス感染症予防の対応も落ち着き、通常の通り日常的な管理に努めることができた。また、令和5年度からの本格的な保存修理工事に必要な準備を進め、国の重要文化財の適正な保護につなげることができた。

12 次世代育成の取組 (10款5項11目 社会体育総務事業費)

運動の基礎である陸上を通して次世代を担う小・中学生の体力向上を目指し、小・中学生への陸上指導を行った。その成果を図るための各種大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった。

- (1) 長距離走の指導 6小・中・義務教育学校 46回
- (2) 第23回 山形県ジュニア駅伝競走大会 オリンピック開催予定であったため中止

<成果> コロナ禍により大会等が中止となったため、数値では表せないが、指導育成により県縦断駅伝選手候補の中・高生のレベルアップにつながった。

13 競技スポーツの推進 (10款5項11目 社会体育総務事業費)

- (1) 一般財団法人新庄市体育協会補助事業 (令和4年7月より体育協会からスポーツ協会へ名称変更)
一般財団法人新庄市スポーツ協会の事業運営に対し補助を行った。 補助金 10,900,000円

(2) 新庄市総合体育大会

一般財団法人新庄市スポーツ協会へ事業の開催を委託した (11種目)。 委託料 915,000円
会期 8月～2月 参加者 選手 1,418人 役員等 306人 合計 1,724人

(3) 新庄市体育表彰

スポーツの振興に顕著な功績があった者及び各種競技大会において優秀な成績を収めた者に対して表彰を行った。

= 新庄市表彰 =

・あじさい表彰	個人 2人	団体 0団体
・感謝状	該当なし	
・奨励賞	個人 54人	団体 5団体
計	個人 56人	団体 5団体

= 新庄市体育協会表彰 =

・体育協会特別表彰	個人 1人	団体 0団体
・スポーツ振興功労賞	個人 1人	団体 0団体
・優秀指導者賞	該当なし	
・殊勲賞	個人 36人	団体 5団体
・飛翔賞	個人 21人	団体 0団体
計	個人 59人	団体 5団体

(4) 市民体力テスト

スポーツ庁からの調査依頼により、市民の体力・運動能力の現状現状を把握するため、市民体力テストを実施した。

期 日 10月4日(火)・9日(日)

会 場 山屋セミナーハウス・升形小学校

対象年齢 45歳～49歳まで

参加者 1回目 24人 (男8人・女16人)、2回目 44人 (男26人・女18人)

(5) 新庄市運動競技大会出場選手奨励事業

全国大会に出場した選手、監督またはコーチ等に奨励金を支給した。

・奨励金支給実績 個人 60 人 奨励金 600,000 円

(6) 新庄市立学校各種大会出場奨励金・助成金事業（令和4年度に学校教育課から事業移管）

東北大会や全国大会に出場した児童生徒に場奨励金・助成金支給した。

・奨励金支給実績 個人 44 人(東北大会 17 人・全国大会 27 人・団体 1 組) 奨励金 541,000 円

・助成金支給実績 個人 41 人(東北大会 14 人・全国大会 27 人) 助成金 841,861 円

<成果> 市のスポーツ振興の一翼を担う新庄市体育協会への活動助成等を行うことにより、スポーツ振興におけるソフト面を充実することができた。また、山形県大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手及び指導者を広く顕彰し、全国大会に出場した選手・監督・コーチ等に奨励金、または児童生徒は東北大会・全国大会の出場者に奨励金と助成金を支給することにより、競技の底辺拡大から競技者の意欲向上、さらには競技力向上につながった。

14 各種スポーツ大会の開催（10 款 5 項 11 目 社会体育総務事業費）

市民の競技力向上や体力づくり・仲間づくりを目的とし、関係団体と連携してスポーツ大会を開催した。

(1) 第 44 回 新庄市総合体育大会

主催 新庄市総合体育大会実行委員会（事務局：新庄市スポーツ協会 委託事業）

期日 8 月 20 日(土)～2 月 5 日(日)

会場 市体育館、市民球場、市武道館、市テニスコート、福田運動公園、すぽーていあ、日新小体育館、萩野学園体育館、山屋セミナーハウス

参加者 13 種目 1,724 人（バレーボール、サッカー、野球、ソフトテニス、弓道、バドミントン、ソフトボール、空手道、剣道、卓球、合気道、柔道、バスケットボール）

※上記のほかスキー競技の開催を予定していたが、主管団体の都合により中止した。

(2) 第 29 回新庄市スポーツ・レクリエーション祭

主 催：新庄市・新庄市教育委員会・新庄市レクリエーション協会

期 日：令和 4 年 9 月 3 日（土）・4 日（日）・10 日（土）・25 日（日）

会 場：新庄市民プラザ、わくわく新庄、山屋セミナーハウス、かむてん公園 等

参加者：7 種目 248 人・（パークゴルフ 33 人、グラウンドゴルフ 44 人、バウンドテニス 13 人、ペタンク 10 人、ターゲットバードゴルフ 12 人、ラージボール卓球 24 人、健康体操 112 人）

(3) 第 4 回 新庄いものこハーフマラソン大会

主催 新庄市、新庄市教育委員会、（一財）新庄市スポーツ協会、新庄地区陸上競技協会

主管 新庄ハーフマラソン大会実行委員会

期日 10 月 23 日(日)

会場 新庄東山総合運動公園及びハーフマラソンコース（市内北東部）

参加者 ハーフの部 221 人、10 km の部 109 人、ウォーキングの部 78 人

<成果> ハーフマラソン大会については新型コロナウイルス感染症対策として種目を限定した開催となったが、他の事業では子どもから高齢者まで、多くの市民が参加できるような各種スポーツ大会を開催することによって身体を動かす機会が増え、市民の体力向上につながった。

15 駅伝強化対策事業（10款5項11目 社会体育総務事業費）

山形県駅伝競走大会「新庄・最上チーム」の実行委員会事務局として、第10期強化対策事業（令和4年度まで）として強化選手2名を配置し、チームの競技力向上を図った。

強化選手 清水 涼雅（新庄市教育委員会）、奥山 智広（最上町教育委員会）

(1) 第66回 山形県縦断駅伝競走大会

主催 山形陸協・山形県体協・山形県教委・山新・13市・13市教委

期日 4月27日（水）～29日（金） 成績 新庄・最上チーム 総合第9位

(2) 第38回 山形県女子駅伝競走大会

主催 山形県陸協・山新

期日 11月20日（日） 成績 新庄・最上チーム 総合第10位

(3) 第64回 山新杯ベーダー駅伝競走大会

主催 米沢市陸協・米沢市教委・山新

期日 11月13日（日） 成績 新庄・最上チーム 第10位

<成果> 山形県縦断駅伝競走大会は前回と同じく、総合9位で大会を終えることができた。また山形県女子駅伝競走大会は前回よりも順位を下げてしまったが、総合10位となった。前年より男女ともに各種大会また、練習会を開催し競技力向上を図った。また、縦断駅伝では高校生、大学生の活躍で3日目を5位で終え、区間賞の獲得も出来た。

16 体育施設の管理運営（10款5項12目 体育施設の管理運営事業費）

(1) 指定管理者制度の活用

①体育館外8施設

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会（令和3年4月1日～令和8年3月31日）

指定管理料 72,651,000円（利用料金制）

②市民スキー場

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会（令和3年4月1日～令和8年3月31日）

指定管理料 31,398,000円（利用料金制）

③北辰屋内運動場

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会（令和4年4月1日～令和8年3月31日）

指定管理料 5,697,000円（利用料金制）

(2) 体育施設巡回点検 定期巡回及び緊急点検の実施

(3) 体育施設の維持管理（修繕等の状況）

①修繕料

施設名	修繕名	金額（円）
体育館	高圧ケーブル入替修繕	1,958,000
	機材倉庫屋根修繕	1,807,300
	ロビー系統エアコン室外機冷媒交換修繕	418,000
武道館	弓道場擁壁修繕	176,000
市民球場	トラクタークラッチ異常修繕	388,850

	夜間照明設備高圧機器更新修繕	6,182,000
	国旗掲揚歩廊鉄筋塗裝修繕	968,000
	下水道切替修繕	4,719,000
	変圧器更新修繕	2,750,000
	事務室エアコン交換修繕	499,400
	夜間照明設備高圧機器交換修繕	385,000
	練習場照明交換修繕	455,400
	一塁側屋内練習場照明交換修繕	455,400
市民プール	動力電灯盤更新修繕	128,700
北辰屋内運動場	LED照明器具据付修繕	638,000
	照明修繕	495,000
計	15件	22,424,050

②工事請負費 13,307,800円

- ・体育館進入路融雪設備補修工事 9,240,000円
- ・武道館照明LED化工事 4,067,800円

(4) 体育施設の利用状況

①利用者数

(単位：人)

施設名	団 体				個 人		利用者 数合計	前年度 (増減)
	団体数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)		
体育館	1,724	1,761 (△37)	28,602	27,770 (832)	947	1,008 (△61)	29,549	28,778 (771)
武道館	1,110	1,059 (51)	11,336	10,657 (679)			11,336	10,657 (679)
市民球場	1,528	1,717 (△189)	30,779	27,717 (3,062)			30,779	27,717 (3,062)
福田運動 広場	91	99 (△8)	2,065	1,983 (86)			2,065	1,983 (82)
福田テニ スコート	7	0 (7)	26	0 (26)	53	57 (△4)	79	57 (22)
横根山 運動広場	10	25 (△15)	179	529 (△350)			179	529 (△350)
陸上競技 場	1,288	1,225 (63)	14,049	14,869 (△820)	377	128 (249)	14,426	14,997 (△571)
市テニス コート	1,296	1,264 (32)	13,805	13,771 (34)	1,160	1,102 (58)	14,965	14,873 (92)
市民プー ル	2	5 (△3)	20	58 (△38)	1,695	2,781 (△1,086)	1,715	2,839 (△ 1,124)
市民スキ ー場					10,936	11,543 (△607)	10,936	11,543 (△607)
北辰屋内 運動場	302	—	3,551	—		—	3,551	—
計	7,358	7,155 (△99)	104,412	97,354 (3,507)	15,168	16,619 (△1,451)	119,580	113,973 (5,607)

②利用料金

(単位：円)

施設名	利用料金	前年度	増減
体育館	1,109,130	1,139,460	△30,330
武道館	803,880	697,245	106,635
市民球場	1,289,590	1,172,920	116,670
福田運動広場	32,100	33,360	△1,260
福田テニスコート	5,800	5,200	600
横根山運動広場	1,500	3,000	△1,500
陸上競技場	224,975	253,725	△28,750
市テニスコート	1,091,720	1,068,930	22,790
市民プール	99,200	148,320	△49,120
市民スキー場	3,959,750	4,452,150	△492,400
北辰屋内運動場	45,000		45,000
計	8,662,645	8,974,310	△311,665

＜成果＞ 日々の管理・運営業務における調整や指定管理者連絡会議等を通し、指定管理者との情報共有や連携を深め、また、老朽化した施設については、計画的・効果的、かつ緊急時には柔軟に修繕等を実施したことで施設の安全性・利便性・快適性及び危機管理の向上につなげることができた。

17 山屋セミナーハウス (10 款 5 項 13 目 山屋セミナーハウス管理運営事業費)

(1) 施設管理

①利用状況

- ・利用者数 9,109 人 (前年度 6,073 人 3,036 人増)
- ・使用料 702,320 円 (前年度 473,340 円 228,980 円増)

②施設整備

- ・修繕料 272,800 円
ボイラー煙突破損修繕、防水コンセント交換修繕 等
- ・工事請負費 6,448,200 円
山屋セミナーハウス照明 LED 化工事

＜成果＞ 屋内運動場と宿泊機能を兼ね備えた体育施設として、スポーツ少年団の活動や部活動、サークル活動など、スポーツ活動や文化活動の場を提供することができた。